

学校だより



津市立櫛形小学校
R4.6.6 発行
第3号 文責：校長

「ひたむきさ」

っていいですね！



5月28日（土）に、令和4年度の運動会を開催することができました。ご参観いただきました保護者やご家族の方々、どうもありがとうございました。皆さまには、どんな子どもたちの姿が瞬に焼きついていますか!?

「ひたむきな姿っていいなあ」、これが子どもたちの姿から感じた私の率直な思いです。

真剣さ、緊張感、活き活きさ、笑顔等々…。

子どもたちのどの姿、どの表情にも、運動会に対するひたむきな思いや姿勢が感じられたように思います。

☆子ども☆キラリ☆

☆「今日の櫛人ぬ宝、キレっキレっで踊るわ」と、最高の笑顔で言った子ども。その踊りは、自信に満ち溢れていました。

☆紅白対抗全員リレー、練習でなかなか上手く走ることができなかった子どもが、運動会本番、大勢の方々の前で、全力で走って次走者にバトンを繋ぐことができました。バトンを受け取った子は、「〇〇さん、がんばってるよな」と言いました。一緒に練習してきたからこそ、心から出た言葉だと思います。こうした体験を通して、子どもたちには他者を理解する心を育ててほしいと思います。



リレーのバトンがアンカーに渡されます

1・2・3年 小さなツバメの大きな夢



1・2・3年生が入場すると、高学年から「かわいい」という声が出ていました。

「あなたたちにも、こんな時があったんだよ」

と言われて、

「えー」と照れくさそうな表情。ほっこりする会話でした。

低学年ダンスは、始まりの翼を広げる動きから子どもたちの意気込みを感じました。

「見ている人に幸せを届けよう」というメッセージが聞こえてくるような、笑顔いっぱいのダンス、素敵でした。

4・5・6年 「櫛人ぬ宝」



運動会も終盤。じっと椅子に座っていることに疲れてきた低学年。でも「櫛人の宝」の太鼓の音が聞こえ始めると、目が釘付け。

最後まで見入っていました。子どもは正直です。

櫛形人として、櫛形を思い、自分たちで作った太鼓を叩いての高学年の踊り。その力強い演技に拍手喝采。

子どもたちの「やりきったぞ!」という満足そうな表情が素敵でした

最後になりましたが、たくさんの保護者の方に後片付けを手伝っていただきました。暑い中、そしてお疲れのところ、本当にありがとうございました。

引き渡し訓練を行いました

緊急事態に備え、引き渡しをより円滑に行えるようにと、運動場で地区別に引き渡しを行いました。皆さまにご協力いただき、正門前坂道での車のすれ違いもスムーズにでき、混雑を避けることができました。ありがとうございました。



地域の先生 「ありがとうございます !!」



本校では、5年生になると校舎の裏の田んぼを引きついで、米作りをします。広さ20㎡余りの小さい田んぼです。本来なら、自分たちの手で田起こし、代かき、田植

えをし、水の管理や草取りの世話をしながら成長の様子を観察し、稲刈りをして干し、・・・と体験したいところですが、今年度もコロナ感染症対策で、前川農産さんをお願いをして、田植えの様子を見学させていただきました。



田植え機に興味津々。しっかりと説明を聞いて、メモをとっていました。

2年生は、地域の青木さんと田中さんにご指導をいただいて、サツマイモのつるさしを行いました。「声を掛けながら水をあげると良いんだよ」と教えてもらおうと、子どもたちは「大きくなあれ」「甘くなあれ」と言いながら水をあげていました。



子どもたちにとって、地域の先輩の方々から学ぶことは、大事な経験となります。先人の知恵を学ぶだけでなく、みなさんに守っていただいている、大事にしているという実感が、故郷を愛する心を育てることにもつながります。これからも地域の方々と共に活動したり、教えていただいたりする機会をつくっていきたいと思います。どうか子どもたちの好奇心、やる気、笑顔をみなさまのお力で引き出してあげてください。よろしくお願いします。

